

形態実習Ⅴ（人体のミクロ構造Ⅱ）

Practice of Human Morphology V (Histology 2)

実習責任者：解剖学(機能組織) 教授 池森 敦子

1. 実習概要・学習内容

人体の正常構造の習得を目指す一環として、形態実習Ⅲに引き続き、組織学を講義および実習(光学顕微鏡による組織切片標本や電子顕微鏡で観察される組織像の観察)を通じて学習する。本実習では、組織学各論として、形態実習Ⅲ(組織学総論)で習得した知識をもとに、各臓器の正常組織構造を学ぶ。

2. 到達目標

- 1) 各臓器の正常組織構造を組織学用語で正確に説明することができる。
- 2) 組織標本を観察し、指定された構造物を同定できる。

3. 学習上の注意点

事前学習の指示に従って予習を行い、講義・実習に臨む。講義は、講義前に配布される資料をもとに進む。実習では、講義で説明された項目をさらに深く理解するため、組織標本を直接観察する。実習の際は、白衣を着用し、適切に光学顕微鏡を使用し、標本を破損することなく、丁寧に扱う事。

4. 教科書・参考書

教科書：『標準組織学 各論 第5版』(医学書院)

参考書：『入門組織学 改訂第2版』(南江堂)

(書評) 組織学の入門書。イラストを多用し、分かりやすく解説されている。

『ウィーター図説で学ぶ機能組織学 第6版』(エルセビア・ジャパン)

(書評) 組織像の写真が多く、組織像の解説が詳細である。実習の参考書として有用である。

『カラーアトラス機能組織学 第2版』(医歯薬出版)

(書評) 組織像の写真が多く、組織像の解説が詳細である。実習の参考書として有用である。

『Ross 組織学 第5版』(南江堂)

(書評) 非常に細かい組織構造まで、丁寧に説明されている。

『人体の正常構造と機能 改訂第3版』（日本医事新報社）

（書評）マクロ構造、組織構造から機能まで、美しいイラストを多用し、分かりやすく簡潔に解説されている。

5. 成績評価

評価項目	実施回数	評価割合	備考
定期試験	2	90（%）	前期中間および期末試験期間中に実施される。
講義・実習態度		10（%）	・服装・実習室への指定時間内の入室の有無 ・組織標本・顕微鏡の適切な使用 ・スケッチの評価

6. オフィスアワー

所属	役職	氏名	時間	場所	連絡先
解剖学 (機能組織)	教授	池森敦子	在室時、毎日 12 時 30 分 ～13 時(月曜日除く)	医学部本館 6 階 解剖学講座	a2kamiyo
解剖学 (機能組織)	准教授	廣井準也	随時（要メール予約）	医学部本館 6 階 解剖学講座	j-hiroi
解剖学 (機能組織)	助教	右高潤子	在室時随時	医学部本館 6 階 解剖学講座	igaigaj
解剖学 (機能組織)	助教	井上一歩	在室している場合、毎日 12 時 30 分～13 時	医学部本館 6 階 解剖学講座	kinoue

メールアドレスは @marianna-u.ac.jp が省略